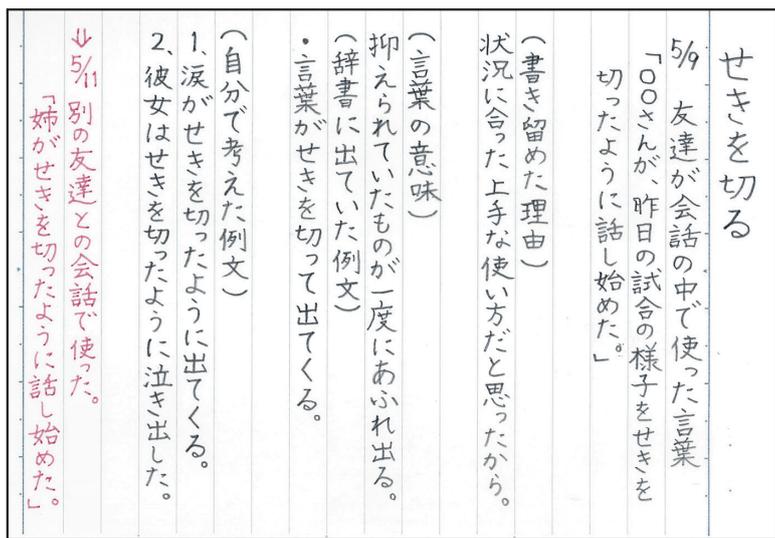




4 「語彙手帳」に書き留めた言葉や書き方の工夫などについてグループで交流する。

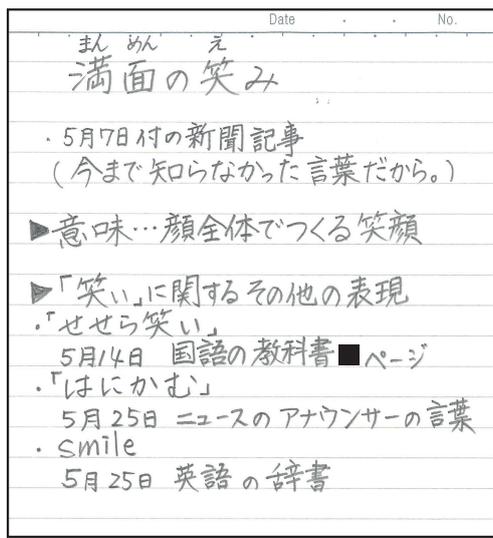
〔Aさんの「語彙手帳」の例〕



追加した項目

基本の項目

〔Bさんの「語彙手帳」の例〕



基本の項目

追加した項目

私は、「せきを切る」という言葉に着目して、言葉の意味を調べるだけでなく、いくつか例文を考えたよ。

Aさん Bさん

私は、「満面の笑い」という言葉が気になったよ。「笑い」を表す言葉には他にどのようなものがあるのか、意識して書き留めておいたのだけれど、他にもまだまだたくさんありそうな気がするな。

Aさんのように、例文を書いておくと、実際にこの言葉を使うときに役立つのではないかな。また、実際に使った場面を記録するというのは、私も参考にしたいな。

Bさんのように、関連する言葉を集めるのもよいね。そう言えば今読んでいた小説の中に、「ほほえみ」という言葉があったな。

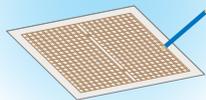
5 「語彙手帳」を基に、実際に使った言葉や今後使えそうな言葉について、グループで交流する。

〔交流で出された内容の例〕

「姉がせきを切ったように話し始めた。」と友達との会話の中で使った。



特別活動で体育祭を振り返る文章を書く際に、「満面の笑い」という言葉を使った。



音楽科の教科書に載っていた歌詞の中の「さまよう」という言葉を書き留めて、国語科の詩を書く学習のときに使った。



国語科の学習で行うスピーチの準備で、「カール杯努力する様子」を伝えるための言葉を探しているのだけれど、以前書き留めた「奮闘」という言葉が使えそうだ。



これからも、「語彙手帳」が活用しやすくなるように自分なりに工夫を重ねたり、書き留めた言葉を目的や必要に応じて使ったりしていきましょう。

本授業アイデア例

活用のポイント!

- 「語彙手帳」を継続的に活用することができるように、第2時で示した4、5の学習を定期的に行うとよい。その際、ことわざや慣用句に着目させるなど、生徒の実態に応じた意図的な指導も大切である。
- 「平成29年度【中学校】授業アイデア例」P.4「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」と関連させて指導することも考えられる。